

所属・氏名（ 助産学専攻科 氏名：北村 万由美 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) 実習指導者が認識する分 娩介助実習の実情 《筆頭論文》	共著	2021年4月	インターナシヨ ナル Nursing Care Research, 20(1), 63-72	実習指導者が認識する分娩介助実習の実情を明らかにすることを目的に、自記式質問紙調査を行った。分娩介助実習では臨床と教育機関との連携強化や助産師の生涯学習の推進、さらに夜間の実習指導体制や学生の休息の確保等、実習環境の整備・改善の必要性が示唆された。 (総ページ数：10頁) 論文著者名：北村万由美・江口瞳 担当部分：全般
2 (学術論文) 産後ケア事業に関する研 究の動向と課題	共著	2020年11月	インターナシヨ ナル Nursing Care Research, 19(4), 147-156	産後ケア事業の研究課題を検討するため文献検討を行った。研究内容は【産後ケア事業の現状】、【産後ケア利用に対するニーズ】、【産後ケア事業に対する効果と満足度】の3つのカテゴリーに分類された。産後ケア事業の研究は始まったばかりであり、今後は地域性をふまえた現状を把握し対策を見出す研究が必要であることが明らかになった。 (総ページ数：10頁) 該当論文の著者名：平田紗衣 杉野真紀 北村万由美 担当部分：特定不可
3 (学術論文) 分娩介助実習における助 産診断に関する助産師の 教授活動 《筆頭論文》	共著	2019年4月	母性衛生 第60巻1号, 39-46	分娩介助実習における助産診断を指導する助産師の教授活動を明らかにすることを目的に、内容分析を行った。助産師は学生の思考する力や判断する力を育て、刻一刻と変化する分娩場面をエビデンスに基づき診断ができるよう、学生自身の内省を促す指導をしていることが明らかになった。(総ページ数：8頁) 論文著者名：北村万由美・江口瞳 担当部分：全般
4 (学術論文) 分娩介助実習における倫 理的配慮に関する助産師 の教授活動 《筆頭論文》	共著	2019年1月	母性衛生 第59巻4号, 810-817	分娩介助実習における倫理的配慮を指導する助産師の教授活動を明らかにすることを目的に内容分析を行った。助産師は学生に産婦を尊重しながら新しい命を繋ぎ家族を形成していく過程を指導していた。また助産師としての責務と使命感を伝えアイデンティティの確立を促し、学生を尊重し信頼することを意識しながら実習指導を実践していることが明らかになった。(総ページ数：8頁) 論文著者名：北村万由美・江口瞳 担当部分：全般

令和 6年 5月 10日現在